

南丹保健所管内の感染症発生動向調査による週報

(急性呼吸器感染症定点、小児科定点、眼科定点、全数報告)

第49週 2025年12月1日 ~ 2025年12月7日

今週のコメント

南丹保健所管内では、インフルエンザが警報レベル継続中です。

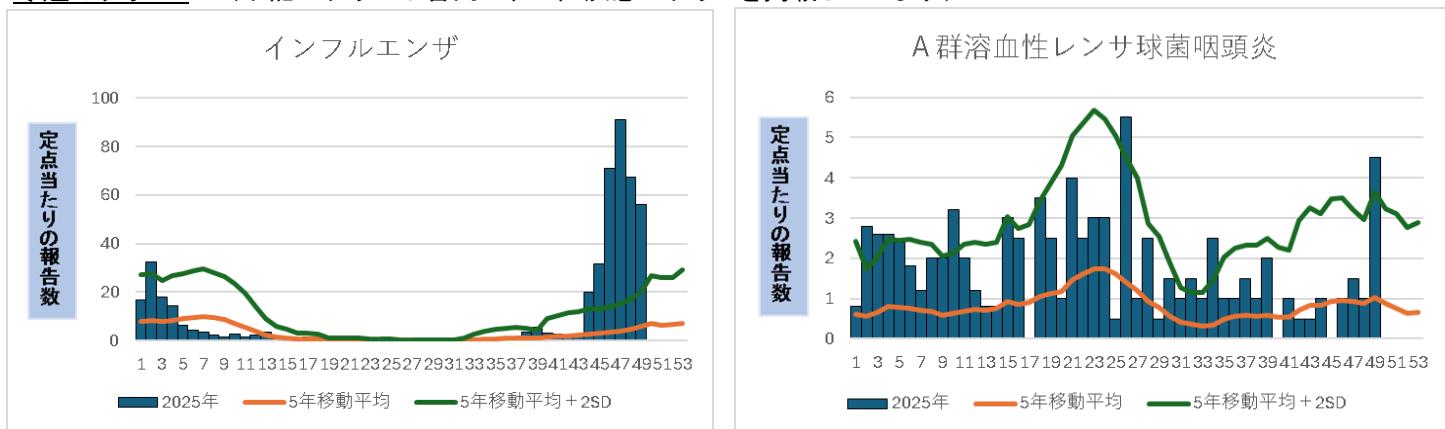
また、水痘が警報レベルになりました。

全国・京都府全体(京都市以外)でも、インフルエンザが警報レベル継続中です。

2025年第49週の報告です。

- インフルエンザの定点当たりの報告数は南丹 56.25(前週 67.50)、京都府 46.55(前週 53.03)となっています。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たりの報告数は南丹 4.50(前週 1.00)、京都府 4.15(前週 3.70)となっています。
- 水痘の定点当たりの報告数は南丹 2.00(前週 0.50)、京都府 0.49(前週 0.38)となっています。
- 新型コロナウイルス感染症の定点あたり報告数は、南丹 1.50(前週 1.00)、京都府 1.35(前週 1.78)となっています。

今週のグラフ (下記のグラフは管内上位2位疾患のグラフを掲載しています)



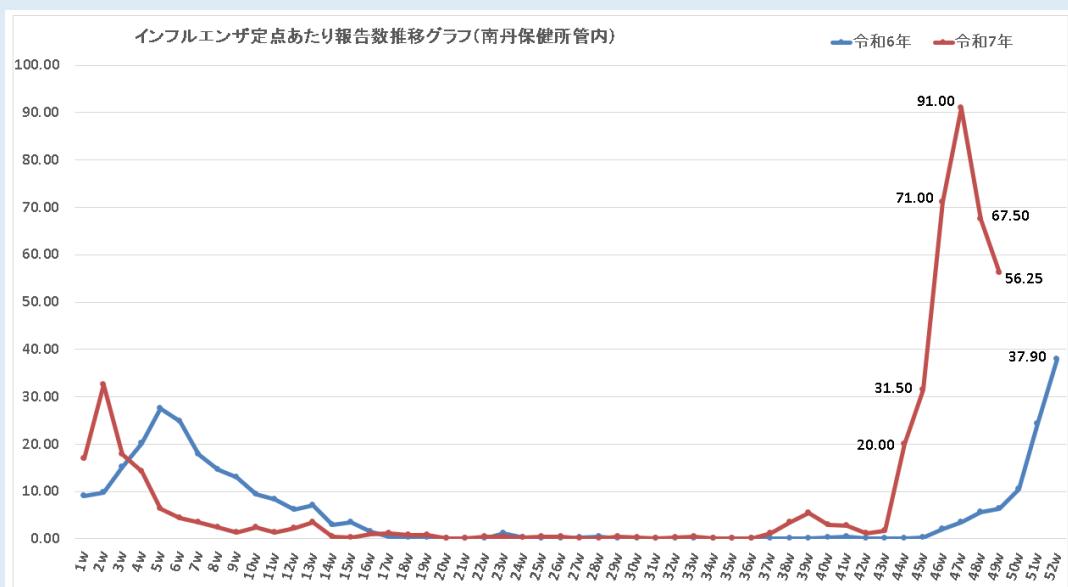
※横軸は週数 縦軸は定点あたりの報告数を示しています

1 『5年移動平均』は、過去5年間の平均値の変化を表しています。

2 『5年移動平均+2SD』は、過去5年間のデータのばらつきを考慮した上限を示しており、データの約95%がこの線より下に収まるとしている基準です。

南丹保健所管内、京都府全体でインフルエンザが警報レベル継続中です！

基本的な感染対策として、流水・石鹼による手洗いやアルコールなどによる手指の消毒、マスクの着用などによる咳エチケットができる限り心がけ、室内は適度な湿度(50~60%)を保ちつつ、こまめに換気もしましょう。また、重症化の恐れがある定期接種対象者(65歳以上の方など)でワクチン未接種の方(今シーズン既にインフルエンザにかかった方は除く)は、速やかな接種をご検討ください。



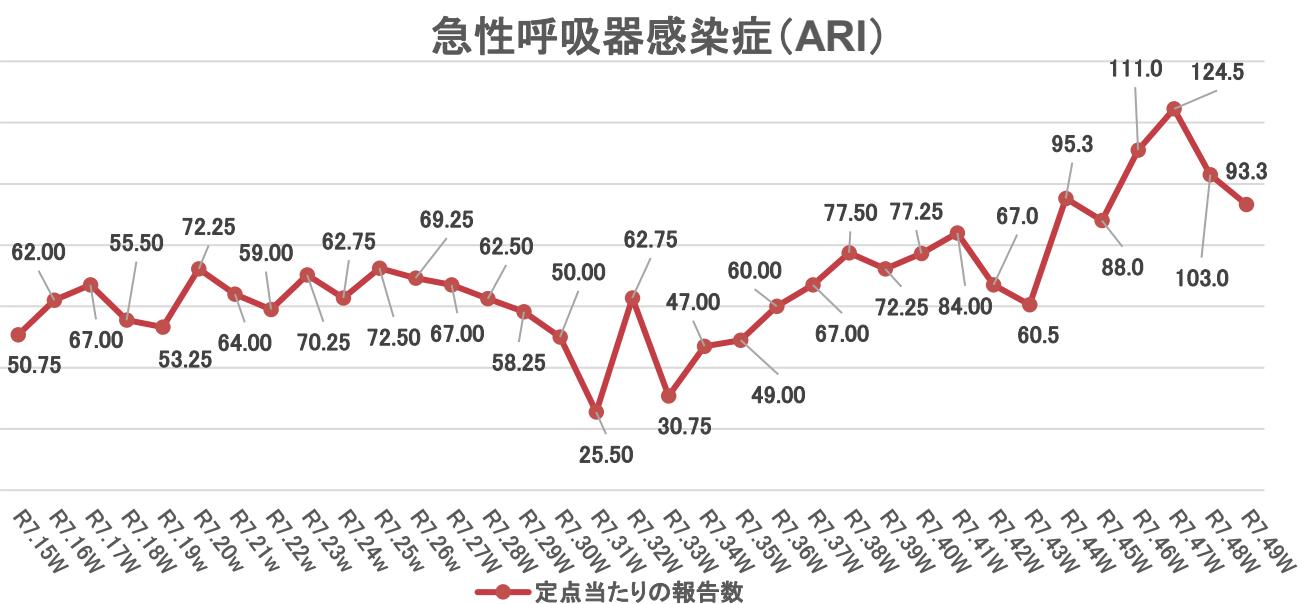
※令和7年4月7日より急性呼吸器感染症(ARI)が感染症法上の5類感染症に位置付けられ、定点サーベイランスの対象となりました。これに伴い、インフルエンザの定点数は9箇所から4箇所に変更になっています。

	警報レベル		注意報	R7.49w		前週定点 (参考)
	開始	終息		定点当たり 報告数	前週比	
インフルエンザ*	30	10	10(流行1)	56.25	↓	67.50
新型コロナウイルス感染症				1.50	↗	1.00
RSウイルス感染症				0.00	→	0.00
咽頭結膜熱	3	1		0.50	↗	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4		4.50	↗	1.00
感染性胃腸炎	20	12		1.00	↓	1.50
水痘	2	1	1	2.00	↗	0.50
手足口病	5	2		0.00	→	0.00
伝染性紅斑	2	1		0.00	↓	0.50
突発性発しん				0.50	→	0.50
ヘルパンギーナ	6	2		0.00	→	0.00
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	→	0.00
急性出血性結膜炎	1	0.1		0.00	→	0.00
流行性角結膜炎	8	4		0.00	→	0.00

急性呼吸器感染症(ARI)について

急性呼吸器感染症(ARI)とは、急性の上気道炎(鼻炎、副鼻腔炎、中耳炎、咽頭炎、喉頭炎)又は下気道炎(気管支炎、細気管支炎、肺炎)を指す病原体による症候群の総称です。インフルエンザ、新型コロナウイルス、RSウイルス、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナなどが含まれます。

南丹保健所管内第49週報告数は373件(定点当たりの報告数:93.25)でした。[京都府の情報はこちら](#)



最新情報は下記のリンク先でご確認ください(関連リンク)

[・京都府感染症情報センター](#)

更新時期:(原則)毎週木曜日14時 前週分の状況を更新

[・感染症の情報\(国立感染症研究所\)](#)